No46 地方方言を使う AI　おくに

義髙　亙

　私はかつて地域文化についてのコンテンツを模索していました。
地域文化とは何かについて突き詰めていきました。アニメやアプリの中で歴史、価値観、民芸品、風習等を再現しましたが、それは地域文化を表しているとは言い難い物でした。地域文化を表す最たるものを模索していく中で一つの答えが出ました。
　地域文化を体現するもの、それはその地域に暮らし、歴史と共に歩み、風習やしきたりを身につけ、地域独特の方言を口にする地域住民そのもの。というものです。
　書物も民芸品も歴史もしきたりも、その人たちが生み出し、身につけているものです。それで地域文化コンテンツとして　地域人を表現する疑似人格を制作してみました。
　「方言を聞き取り、方言を話し、地域の歴史や風習について話す」このような AI が「おらがおくに」「ふながた」というコンテンツです。
　これらは 1900 年代に山形を生きた私の祖母をモデルにしたものです。当時の表現、言い回し、考え方が少しでも表現できるよう工夫しました。
これらは東北デジタルコンテンツグランプリで準グランプリ、さらに NTT 西日本から賞を受賞し、当時評価が高かったものです。
　残念ながら 2000 年前後の数世代前の AI です。
AI はこの後、高度に発展して、今はこの AI を完全に再現できる OS 環境もありません。ですが、この評価から今伝えられるものがあります。
　もっとも地域文化を具現化しているものは人である。これら AI は不完全ながら 1900 年代における山形の地域文化を身に着けた人格の具現化を試みたものである。と

地域文化の体現

地域文化とは何か

アニメやアプリに組み込んだ文化は不充分

地域文化を体現するもの

地域住民そのもの

地域人を体現する疑似人格(AI)

方言を聞き取り、方言を話し、地域の風習を話す

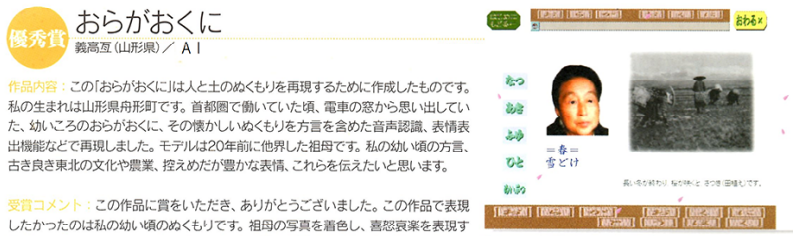
「おらがおくに」「ふながた」

「おらがおくに」「ふながた」

・2000年の旧世代AI

・地域文化を体現するのは地域の人

・地域文化の具現化を試みたもの



END